

新型コロナウイルスに負けないための心理学

～「正常性バイアス」と「同調性バイアス」のお話～

野山の草木の新緑は色濃くなり、風薫るさわやかな季節になりました。

新年度が始まり 1 カ月が過ぎ、白糸中の生徒たちは新しい環境での学習や生活に意欲的に取り組んでいます。現在 3 度目の緊急事態宣言が出され、新型コロナウイルスの感染拡大が心配される状況になっています。今回は、生徒の「学び」を止めないという観点から、いつも以上に感染防止対策を講じて授業等学校生活を続けさせていただいている。しかしながら、部活動の停止や外出の自粛など、生徒にとって貴重な経験や活動が制限されており、とても心苦しい気持ちでいっぱいです。1 日も早く京都に出されている緊急事態宣言が解除され、安全に活動できる状況になることを心から願うばかりです。

今年度の学校生活も、昨年度同様、感染防止のために従来通りにはできないことがあると思いますが、生徒や先生たちの英知を結集して、今までにはない新しい白糸中を創り上げていきたいと思います。まさに、校訓「常に新たに」を合言葉にしてがんばりましょう。

今日は、「正常性バイアス」と「同調性バイアス」という災害の時の心理について、インターネットなどで調べたことをお話ししたいと思います。

簡単に説明すると「自分は大丈夫」と思い込む心理のことです。

私達の日常生活の中には、予期しないことやはじめて経験することが起こります。例えば、授業中に突然先生に発言を求められるとか、不意に風が吹いてドアがバタンと閉まるとか、学校を卒業し新たな環境に身を置くとか・・・です。その度に大きく反応をしていると、精神が疲労してしまうので、人間の脳にはそういう出来事を「正常な範囲だ」と自動的に判断して、心を平穡に保つ働きがあるそうです。それを「正常性バイアス」と言います。

「同調性バイアス」という言葉もあります。これは「周りの人と同じ行動をとる」ことが安全だと考える心の働きです。特に、日本人はこの働きが強いと言われています。本当であれば迷うことなく逃げるべき状況でも「周りの人が逃げない」から「自分も逃げない」という選択をする人が圧倒的に多いとされています。

ところが、これらの働きが本当に深刻な状況になったときに、人間を危険な方向へ進ませることがありますので注意する必要があります。例えば、校内で突然火災を告げる非常ベルや非常放送が鳴ったとします。当然決められた避難行動を取るのが最優先なはずですが、とっさに「誰かが間違って押したんやろ！」と思ってしまいませんか。内心「本当に火事だったら逃げなくては」と思っていても、「火事など起きていない」という正常な範囲に脳が判断しようとしてしまい（正常性バイアス）、避難せずにその場で様子を見るような対応になります。また、逃げようとしない周りの様子から、自分も逃げない方を選択して（同調性バイアス）しまうことがあります。本当に火事だったなら、命に関わることです。

今回の新型コロナウイルス感染症については、私たちは経験したことのない状況に、すでに 1 年以上も置かれています。この状況が、「正常性バイアス」「同調性バイアス」が最も働きやすいケースだと思います。

舞鶴市内の新規感染者数が他市に比べれば少ない状況の中で、一生懸命感染防止を呼び掛けても、「自分は大丈夫」「みんなもしているからこれくらいは大丈夫」と思う人がいるかもしれません。テレビのニュースで、ゴールデンウイークに府県を越えて旅行に出かける人や夜間集まって路上で飲食する人々の映像を見て、「ひょっとしたらあのくらいなら平気なのではないか」と感じてしまう人いたのではないかと思う。しかし、そんな気持ちが広まっていった状況を想像すると恐ろしくなります。「自分だけはかかるない」「これくらいは大丈夫だろう」には根拠はどこにもありません。「正常性バイアス」や「同調性バイアス」は、誰でも持っている人間の特性で、そのものが悪いというわけではありません。現に「同調性バイアス」は、災害など非常時に一致団結して助け合うということにもつながっています。重要なのは、マイナスに働くことがあるということを知ること、そして例えば、「この状況で、旅行をしていたら感染する可能性がある」というあたりまえの「想像力」を働かせることがとても大切です。白糸中のみなさんには、理性を持ってこの状況を乗り越えてほしいと思います。「がんばろう！白糸中生・・・。」

白糸中に文部科学大臣政務官が来られました。

4 月 17 日（土）午後、文部科学大臣政務官の鶴淵洋子さんが来校され、舞鶴市教育委員会の奥水孝志教育長をはじめ教育振興部の皆さんや市内外・中学校の代表と舞鶴市の教育施策や学校現場の状況などについて意見交換されました。懇談後は、部活動をしている生徒の様子や GIGA スクール構想でタブレット端末が設置された教室などを視察していただきました。短い時間ではありましたが、市や学校の声を直接聴いていただく貴重な機会となりました。

校長 廣瀬直樹・教職員一同



日	曜日	5月 学校行事
1	土	
2	日	
3	月	憲法記念日
4	火	みどりの日
5	水	こどもの日
6	木	家訪 清・給あり45分【下校13:25】
7	金	内科検診5・6限(3年1・2・3組)【下校15:50】 SSW
8	土	
9	日	
10	月	S.R全校集会 6限45分【下校15:40】
11	火	内科検診5・6限(3年4組・2年3・4組・6組) SC【下校15:50】
12	水	一斉退勤日・一部活day IRT(全学年)
13	木	尿検査1次
14	金	心臓検診1年 5・6限13:30～図書室 尿検査1次 SSW
15	土	
16	日	
17	月	教育実習生4名実習開始
18	火	
19	水	一部活デー 中丹サポート訪問(授業研究会) 【下校13:35】【2年4組5限後下校14:30】
20	木	授業参観2・3・5・6限
21	金	授業参観2・3・5・6限・英検 非行防止教室1年3～6限 SSW
22	土	
23	日	
24	月	内科検診(1年1・2・3組)
25	火	内科検診(1年4組・2年1・2組)
26	水	5限50分【下校14:50】職員研修のため 二測定2限3年図書室 学校徴収金引落し日
27	木	3年全国学力状況調査 二測定2限2年図書室
28	金	二測定2限1年図書室 SSW(志楽～新小)
29	土	
30	日	
31	月	二測定2限6組保健室

【6月の主な予定】 今後、変更の場合あり

6/1(火)～衣替え 6/5(土)市民盆・ツ祭・陸上総体
6/20(日)中丹陸上 6/21(月)～二者懇談会(6限45分)
その他... 6月中に(歯・眼・耳)検診の予定です。

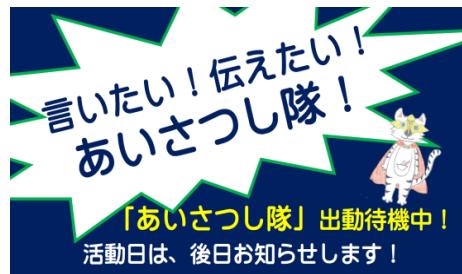
第17回都道府県対抗全日本中学生大会「ソトボール」(3/27～)に本校3年生の井関美桜菜さん・上田彩音さんが参加しました。井関さんは2・3回戦を完封、上田さんは2回戦に決勝点になる二塁打を打つなど大活躍しました。お疲れさまでした。
今後の活躍にも期待しています。



～生徒会活動より～

昨年度の白糸中の課題は、「挨拶」でした。だからこの取組を機にたくさんの人に挨拶をしてほしいと考えました。

現在は、緊急事態宣言中なので出勤待機中です。



~1人1台端末~4/28(水)にiPadの取り扱いや使用のルールの確認後、実際に使用しました。



各種大会結果 (R 3年3月末～)

和田杯(3/20)

「男子Sの部」
優勝 津田柚翔 伊藤颯人ペア
3位 左近滉典 船越大輝ペア



「男子Aの部」

3位 小西響介 井上絢翔ペア

「男子Bの部」

3位 平野晃太郎 西村聖紀ペア



「女子Bの部」

準優勝 木船ゆま 山本杏寿ペア

3位 田平愛菜 田中美桜ペア

舞鶴市東西対抗剣道大会(3/27)



最優秀選手賞 山本大翔

優勝 東軍(白糸中・青葉中)

剣志剣道大会(3/27)

準優勝 山本大翔 敢闘賞 荒木格人

審判賞 大山結希

第19回舞鶴市長杯ソフトテニス選手権大会(4/11)

「一般男子の部」

優勝 津田柚翔 伊藤颯人ペア

3位 左近滉典 城北中生徒ペア

令和3年度京都春季選手権水泳競技大会(4/18)

「50m自由形」 25.33



「100m自由形」 54.61

1位 井上蒼太郎

4月19日(月)はお忙しい中、PTA合同役員会及び企画委員会にご出席をいただきありがとうございました。現在、PTA会員の皆様に下記のスローガン(案)等を書面決議中です。本部役員の皆様方を中心に1年間よろしくお願ひいたします。

<PTA活動スローガン(案)>

～子どもを温かく見守り、
共に成長していく校区作り～

【会長】小林裕介 様

【副会長】安藤美智代 様 【副会長】大西知晴 様

【書記】大戸由利亞 様 【会計】岡見葉美 様

【議長】奥田康恵 様 【議長】山中宏介 様

【監事】上林英生 様